

(毎月10日発行)

広報

かわにし



昭和56年 8/10 No.276

948-01 中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎02576-8-3111)

発行 町長 根津正三 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き

-8月1日現在-

男 4,975 (+7)

女 5,064 (+1)

計 10,039 (+8)

世帯数 2,351 (-0)

() 前月比較



仙田小学校のグラウンドに、県警のヘリコプター「こしかぜ号」が舞い降りたのは、先月十五日のことでした。

機長さんは、「おじさんの三つのお願いを聞いてくれたら、ヘリコプターにさわらせてやってもいいよ」ともったいぶりました。

「はい」。大きな声で児童たちはもちろん約束をしています。

一つ、道路では絶対に遊ばない。

二つ、お年寄りには、右を見て、左を見て、また右を見て横断歩道を渡るよう教えてやる。

三つ、お酒を飲んだら運転しないよう、お父さんたちに注意する。

この日は、仙田地区の各小学校の児童が集まっています。

そのほか、仙田保育園の園児や近くの人たちも見学に訪れ、交通安全について勉強しました。

8月の休日救急医

16日	池田	医	院	(本町西)
23日	山口	医	院	(袋町)
30日	富田	医	院	(神明町)

9月上旬の予定

6日	中条	病	院	(中条)
----	----	---	---	------

「報告」

先月二十二日、第八回町議会臨時会が開かれました。
農業委員会委員の推薦、財産の譲与、五十六年度一般会計補正予算などが審議され、いずれも原案どおり可決されています。

あかね会へ土地を譲与

「なかまの家」建設まぢか

なかまの家の用地にと、社会福祉法人あかね会へ、元町・中子地区の宅地二万九千六百七十七平方メートルと雑種地九千七百四十七平方メートル、合計三万九千四百二十四平方メートルの土地を譲与

「親の会」が基金運動

一世帯三百円以上を……川西町手をつなぐ親の会（小川昭一会長）では、上部団体の中魚・十日町手をつなぐ親の会連絡協といっしょに、十日町市・中魚沼郡にお住みの皆さんの力で、なかまの家の建設と運営を……という事で郡市内いっせいに、八月一日から一世帯三百円以上を目標に基金運動を始めました。
なかまの家は、精神薄弱者更生施設として、総工費一億円で元町の中子地区に建設されることになっていきます。
基金目標額は六百万円です。皆さんの善意をお願いいたします。

トの利子の合計額としています。

◆字の区域の変更

地すべり関連事業の大白倉地区ほ場整備事業によって、大白倉と大倉地内の一部の大字境界を新しいほ場区画に合わせて変更するものです。

陳情 「郵貯懇」を 見守ってほしい

このたび、県信用組合川西支店長、川西町農協組合長理事をはじめ、十日町市内の各金融機関支店長の連名で、「郵貯懇を見守ること」についての陳情書が、平野議長あてに提出されました。

これによりますと、郵便貯金が現在六十兆円を超え個人預貯金全体の三割を占めており、民間金融機関の資金吸収運用に大きな影響が出ているなどの問題があるとのことです。

こうしたことから、内閣に「金融の分野における官業のあり方に関する懇談会」（郵貯懇）が設置され、金利の一元化などを国民経済的視点から検討しているそうです。

議会に「郵貯懇」の審議を尊重し、答申が出るまでは慎重に見守るよう陳情しています。

◆資料提供者（敬称略）

- 齋木定太郎（小脇）、丸山誠一（原田）、栄行寺・大溪不二男（上町）、田中長五（小千谷市）、星名イシ（上野）、沖立総代、数藤貞義、春日照平（仁田）、南雲直秀（中仙田）。

◆主な提供資料（一）内西暦

- 渡台後備歩兵召集ニ付実家身元詳細届（一八九五）、差上申御請書之事（取安川用水論争落着）（一八二二）、制札―上杉謙信実印の乱暴者等とりしまり―（一五六九）、乍恐以書付奉願上候―庄屋役退役願い―（一七七〇）、稲葉村ヨリ沖立村山諍論裁許ノ條々（一六九三）、薬師庵記（一八二七）

以上総数一四一三件
（七月末日）



千手市の史料紹介

須藤重夫

千手の馬市は一説によると、千手から一頭の名馬を上杉謙信へ献上し、以来謙信の許しを得て毎年たてられてきたといわれている。それが事実かどうかはさておき、馬市が江戸時代の初期から盛んだったことは、水口沢文書と長徳寺の制札から伺うことができる。以下文書を要約して紹介する。

水口沢文書

- 一 以前から公儀よりいわれているきまりをしっかりと守ること。
 - 一 観音様の境内では、喧嘩や口論をしてはならないこと。
 - 一 観音堂内では参詣人をとりくるうことをしてはならず、みだりに鐘を撞いてはならないこと。
 - 一 仁王門より内へ牛馬やかごを入れてはならないこと。
 - 一 仁王門より内で商売をしてはならないこと。
- この文書は寛永十五年（一六三八）六月のものであり、次の制札も同年に高田藩から下附さ

町議会議員20人

無投票で当選する

任期満了による町議会議員一般選挙は、二日に告示されました。告示と同時に、定数と同じ二十人が立候補の届け出を行い、九日の投票日に向けて選挙戦を開始しました。

しかし、三日の午後五時の立候補届けの締め切りまでに、このほかには届け出る人がいみせんでした。

その結果、無投票で町議選の幕が下りています。

今回は、定数を二十二二人から二十一人に減らしていますが、昭和四十四年の一般選挙で無投票となった際も、定数を二十六人から二十二人に減らしたときでした。

選挙関係の日程としては、今日十日の午前十時から選挙管理委員会を開催し、十一時から当選者一

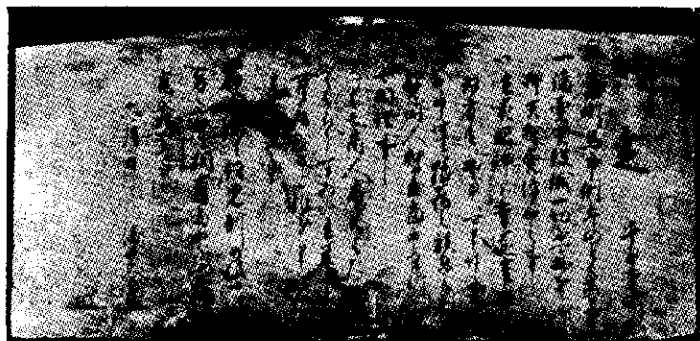
十人に当選証書を付与することになっています。

当選者は現職が十六人、新人が四人です。

これによって、九月一日から新構成の町議会がスタートしますが、これからの四年間、これらの代表者の活躍にご注目ください。

町議会議員当選者 (立候補届け出順)

平野正義	小川清次	高橋礼三	押木元男	若山三元郎	保坂三郎	滋野一郎	高橋長夫	田中哲夫	戸田与三郎	小林正人	小林寅雄	羽鳥欣一	小海貞二	桑原要雄	平野圭二	高橋弥太郎	戸田治	登坂茂	
58	66	53	44	66	61	54	60	74	49	55	57	55	50	60	68	56	66	58	61
無所属現	無所属現	無所属新	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属新	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現	無所属現
金物販売業	製材業	農	電気工事業	農	無職	石油販売業	農	保険代理業	理容業	農	建設業	会社員	農	農	農	農	農	農	農



長徳寺高札 (県史より)

れたものである。

長徳寺の制札(書下し)

定 千手堂町

一 当町馬市、例年のごとく立て申す可き事

一 諸売買役儀、一切掛ける不可事

付、押買、押売停止の事

一 喧嘩闘争の輩、穿鑿を遂げ双方共に曲事に申し付く可き事

一 市中に於て狼藉の族これらば、警固人押え置かせ、当市奉行へ相理可き事

一 方々の商人、宿賃はたご銭、ばくろう、すあい、有来ること

とく取るべし、むぎと非分申しかけまじく候事

右の条々先例に任せ、此の如く候、此の旨相背く不可者也、仍件の如し

寛永拾五年六月 日

渥美 久兵衛(花押)

本多七左衛門(花押)

なお、縮市も最初のころは千手市の際に行われたらしく、津南町にある文書に次のように書いてある。

「元和元年(一六一五)千手新田立始め、松平越後守様御代に市米願い、米百貳拾石宛年々御拝借仰せ付けさせられ市立仕、其年々現金米値段を以て代金上納相済申候、縮市も始めは千手にて、上方所々方々より諸商人参られ売買仕り候由、寛文子年(一六七二)、十日町大肝煎役故、前々白布御運上役銀村々百姓方より取立御上納仕候故、縮市は十日町へ引取申候由に御座候」(一部省略：筆者)

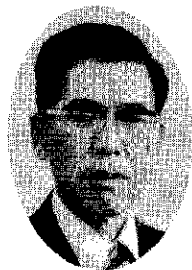
千手新田というのは現在の千手中央町あたりであるが、水口沢村・中屋敷村・宗正村・沖立村・上新井村・山野田村・東善寺村の七か村から百姓が移住して開発したと記載してあるかなり信びよう性の高い文書が所所に残されている。

(町史調査専門委員歴史班長)

議町新 抱負を語る

立候補届け出順、
敬称略、「抱負」
は一部整理する。

平野 正義 58歳 現



〔町内〕
上町
〔職業〕
金物販
売業

〔現職〕交通安全協会千手支部長
〔前歴〕交通指導員、国保運営委員、千手小PTA副会長、県商工連合会工業副委員長、千手青年会長

〔抱負〕①人口を増やすため宅地の造成、②過疎対策に力を入れる、③ブナ林を中心にした西山の大開発、④公害のない工場の誘致、⑤除雪対策、⑥交通安全対策

小川 清次 66歳 現



〔町内〕
下平新
田
〔職業〕
製材業

〔現職〕議会副議長、中魚木材組合長、軍恩連盟中魚連合支部長
〔前歴〕議会代表監査委員、議会総文委員長、商工会副会長

〔抱負〕①教育文化の向上と青少年の不良化防止、②商工業の振興、

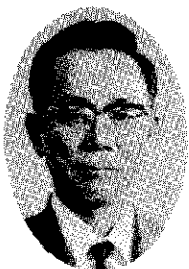
③西部地区の農業基盤整備早期完成、④無公害企業の誘致、⑤福祉対策、⑥豪雪対策、⑦家屋密集地域の下水道整備早期実現

高橋 礼三 53歳 新

〔町内〕伊友
〔職業〕農業

〔前歴〕部落総代、伊友上ノ原開田組合長

〔抱負〕①新人として、健全財政を堅持する中で、地域住民の福祉の増進を図ることが重要と考える。



②有機農業に
取り組む、③
豪雪地

の環境整備、消雪パイプの早期実現、④青少年の健全育成、⑤学校教育、社会教育の充実、⑥老人福祉の増進を図る。

押木 元男 44歳 現

〔町内〕元町
〔職業〕電気工事業

〔現職〕国保運営協議会委員
〔抱負〕①長期的には地場産業の育成、短期的には企業誘致、特に、男性雇用型の工場誘致を促進し、安定した職場の確保により、若者の定着できる町づくりを進めたい。

の定着できる町づくりを進めたい。

②道路整備、豪雪対策の強化を図るとも、



国県への働きかけを

続けていく。③教育の正常化と、老人・社会福祉の向上に力を注ぐ。

若山 三郎 66歳 現

〔町内〕新町新田
〔職業〕農業

〔現職〕町農協組合理事、土地改良区監事、節黒城址保存会会長

〔前歴〕上野村議、同農地委員

〔抱負〕①総合開発計画の推進、②無駄のない家庭生活と町政・冠婚葬祭が派手になっている。お互いに自粛を要する。行政では、少数精鋭主義、合理的指導計画により能率を高める。③観光事業の開発―新しい産業として観光開発を。



①総合開発計画の推進、②

無駄のない家庭生活と町政・冠婚葬祭が派手になっている。お互いに自粛を要する。行政では、少数精鋭主義、合理的指導計画により能率を高める。③観光事業の開発―新しい産業として観光開発を。

保坂 次夫 61歳 現

〔町内〕
沖立
〔職業〕
無職



〔現職〕
無職

千手小後援会副会長、河川愛護会副会長、千手角道会長
〔前歴〕中魚十日町市P連会長、千手小P

TA会長、県相撲連盟常任理事、体育協会副会長

〔抱負〕地方の時代といわれ、町にとっても大きな転換期を迎えています。そんな中で、皆さんがゆとりのある豊かな生活ができるよう、精いっぱい活動いたします。

滋野 一郎 54歳 現

〔町内〕野口
〔職業〕石油販売業

〔現職〕広域事務組合議員
〔前歴〕橋村議、橋土地改良区理事、議会産経委員長、議会副議長

〔抱負〕①日常生活の中から住民の声を吸いあげ、あらゆる問題を行政の中に生かすよう努力する。②克雪対策を基本に、農業の諸問題に取



り組む。③地場産業振興育成

とともに、工場誘致も進める。④農工商の立体的な産業育成が使命

高橋 長夫 60歳 新

〔町内〕坪山
〔職業〕農業

〔前歴〕国家公務員(食糧事務所)



〔抱負〕①明るく住みよい郷土、住みよい環境の町づくりの推進に

努める。②農業政策の中で、水田

利用再編対策による減反を克服して、健全な農業振興を進めるため諸問題に取り組んでいく。③豪雪対策としては、無雪道路の確保をするため、消雪パイプの普及を図る。

田中 与三郎 74歳 現



〔町内〕
山野田
〔職業〕
保険代理業

〔現職〕公民館運営審議会委員長
〔前歴〕国保運営委員、議会副議長、ほか各常任委員長、議会選出教育委員

〔抱負〕住民の要望に応じて平和で豊かな町づくりに努力する。①豪雪対策、②労働問題と雇用の充実、③独立公民館の建設、④町営宅地造成、⑤観光による商工業発展策、⑥除雪費の雑損控除運動

戸田 哲次 49歳 現

〔町内〕仁田
〔職業〕理容業



〔現職〕議会建社委員長、社会福祉協議会理事、環境衛生同業

組合十日町支部副支部長
〔抱負〕①総合的豪雪対策、特に千手地内道路の拡幅改良と流雪溝

の設置、②なかまの家建設に引き
続き努力、③スポーツではナイタ
ー設備実現、④五升苗ダム建設、
⑤工場誘致問題、⑥中学校の一部
改築と橘小校舎改築の実現に努力

小林 正人 55歳 現

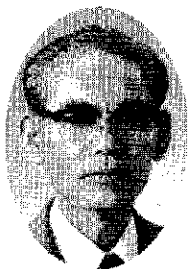


〔町内〕 中仙田
〔職業〕 農業
〔現職〕 農会総文副委員長、土地改良区理
事、仙田地区開発振興会会長

〔前歴〕 中仙田小PTA会長、仙
田中PTA会長、町へき地教育振
興会長

【抱負】①寒雪の克服、②清潔誠
実勇気を信条に、信頼できる町政
の確立、③若人の定着できる工場
誘致、④総合開発計画の推進、⑤
昇格する四〇四号線の改良促進

小林 寅雄 57歳 新



〔町内〕 中屋敷
〔職業〕 農業
〔前歴〕 農会

【抱負】議会に新鮮な空気と新し
い感覚の導入を心がけ、町民との
対話をたいせつに要望の実現に努
力します。①生活環境の整備充実、
②社会教育の充実と青少年の健全

育成、③町道の整備と無雪道路の
確保、④社会福祉の向上、⑤農業
の経営基盤の充実、⑥地場産業の
振興と企業誘致の推進

羽鳥 欣一 55歳 現

〔町内〕 木落
〔職業〕 建設業
〔現職〕 国保運営協議会委員、河
川愛護会理事
〔前歴〕 町交通安
全協会会長

【抱負】町民が雪国の暗いイメー
ジを払拭し、楽しく暮らせる町づ
くりを
努力し
ます。



〔現職〕 町長が雪国の暗いイメー
ジを払拭し、楽しく暮らせる町づ
くりを
努力し
ます。

無雪道路の促進、②教育環境の整
備、③河川改良を推進し、農地の
保護を図る、④青少年の健全育成、
⑤交通安全対策、⑥福祉の推進

小海 貞一 50歳 現

〔町内〕 上野
〔職業〕 会社員
〔現職〕 議会産業厚生委員
〔前
歴〕 町消防団第二分団長

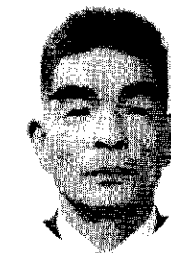
【抱負】①明るい豊かな活力ある
町づくりに取り組み、②産業基盤
の整備、工場誘致などにより住民
の定着



の定着
化を図
り、若
者のU
ターン
を考える。③道路整備と無雪道路

の確保、効率的な排雪体制を確立
する。④上野、下平地区下水道の
早期完成に努力する。

桑原 要雄 60歳 現



〔町内〕 室島
〔職業〕 農業
〔現職〕 国保運営協議会会長、仙田開発振
興会副会長、健康づくり推進協議
会会長、新農構推進委員、仙田小
後援会会長
〔前歴〕 国民年金委
員、畜産公害対策協議会委員、国
保運営協議会委員

【抱負】町長の施政方針を擁護し、
明るく住みよい町づくりに協力す
る。特に過疎対策（末端集落）と
健全なる青少年の育成に努力する。

平野 圭一 68歳 現



〔町内〕 東善寺
〔職業〕 農業
〔現職〕 議会議長、土地改良区副理事長
町農協第一理事
〔前歴〕 農業委
員会長、千手町農協組合長

【抱負】①農業立町を貫き、生産
組合等と強化と、若者の働ける工
場の誘致を図る。②新幹線の開通
を控えて、保養基地、住宅街の建
設、文化施設の導入を図り商工業

の発展を促す。③道路整備、交通
対策、青少年対策、スポーツ振興

高橋 弥太郎 56歳 現

〔町内〕 高倉
〔職業〕 農業
〔現職〕 議会選出監査委員、農業共
済評価会委員、川西高校後援会理
事
〔前歴〕 議会建社委員長、広
域事務組合議員、町商工会監事、
川西高校PTA会長

【抱負】教育は運効的なものであ
って、にわかに変化は現れないが、
行政は
速効的
であり、
その影
響は如
實に現れてくる。的確な判断で町
民のための行政を推進する。



行政は
速効的
であり、
その影
響は如
實に現れてくる。的確な判断で町
民のための行政を推進する。

戸田 専治 66歳 現

〔町内〕 仁田
〔職業〕 税理士
〔現職〕 議会総文委員長
〔前歴〕 議会総文副委員長

【抱負】この四年間の任期中にせ
ひやりたいことは、次のとおりで
す。
①川西中学校の一部改築と橘小学
校の改築。



②二十
日町地
域広域
市町村
圏協議
会
決定事項の忠実な実行。

これらの実現のため努めます。

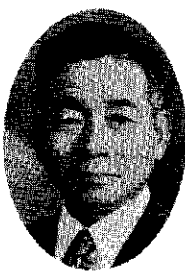
上村 広治 58歳 新



〔町内〕 上野
〔職業〕 農業
〔現職〕 上野地区下水道委員会
長

【抱負】町民がお互いに相談し合
い知恵を出し合って、それを行政
に反映させるためのパイプ役を努
める。①溜池水源の冬期利用によ
る流雪溝の整備、②医療施設の充
実、③水田利用再編対策の見直し、
④農業経済の安定、⑤商工業振興、
⑥道路改良、⑦下水道の整備、⑧
社会福祉の充実

登坂 茂 61歳 現



〔町内〕 岩瀬
〔職業〕 農業
〔現職〕 議会産厚委員長、町へき地教育振
興会長、土地改良区理事、衛生施
設組合議員、伝染病組合議員
〔前歴〕 仙田中PTA会長、仙田振
興協議会会長

【抱負】①工場誘致に努力、②国
県道改良促進、③川西大橋の実現、
④無雪道路確保のため、町民の協
力体制と流雪溝の整備、⑤青少年
の健全育成、⑥新農構等の促進

農業委員が決まる

新しい農業委員が決まりました。

七月十七日執行の川西町農業委員

会委員一般選挙は、立候補者と定数が同数のため、無投票となり、七月十八日の選挙会で次の方々の当選が確定しました。

川西町農業委員会は、選挙による委員が十七人、町長が選任する委員が三人の計二十人で構成されています。

農業委員の役割

《法令に基づく業務》

①農地法等に基づく農地、採草放牧地、また新炭林の利用関係の調整や自作農の創設維持に関すること。
②農用地利用増進法によりその権

限に属されたこと。
③土地改良法に基づく農地等の交換分合とこれに付随すること。
④その他法令によって農業委員会

の権限に属されたこと。
⑤農地等の利用関係についてのあつせんと争議の防止
⑥農地等の交換分合のあつせんとその他農地事情の改善。
⑦農業、農村に関する振興計画の樹立と実施推進。
⑧農業技術の改良、農業経営の合理化など。
⑨農業者年金の業務、それに出かけせぎ対策。

会長は水品正一郎氏

改選後第一回の農業委員会は、先月二十八日に役場の議場で開か

れられています。

これらが重要な仕事としてあげられます。

新しい農業委員

(任期56.7.20～59.7.19)

☆選挙による委員

星	名	隆	一	(現)	59歳	野	口
数	藤	貞	義	(〃)	54歳	沖	立
保	坂		清	(新)	51歳	大	倉
田	口	直	人	(〃)	35歳	木	落
小	林	直	臣	(〃)	51歳	中	田
高	橋	信	雄	(〃)	50歳	赤	谷
村	山	勇	太	(現)	57歳	高	原
押	木	増	郎	(〃)	66歳	元	町
渡	辺	一	郎	(〃)	47歳	新	新
佐	藤	寅	夫	(〃)	54歳	仁	田
星	名	昭	次	(〃)	53歳	霜	条
田	中	久	義	(〃)	50歳	下	原
南	雲	幸	二	(元)	57歳	寺	尾
斎	木	稀	治	(現)	52歳	小	脇
今	井	誉	夫	(〃)	64歳	上	野
平	野	末	之	(〃)	62歳	四	兼
増	田	準	助	(〃)	54歳	室	鳥

☆町長が選任する委員

羽	鳥	力	夫	農協推薦	45歳	伊	友
水	品	正	一	町議会推薦	68歳	三	領
高	津	正		〃	57歳	塩	辛

ねんきん

福祉年金を受けたら

「みどりの証書をお返しください」

八月は、福祉年金証書を返す月です。

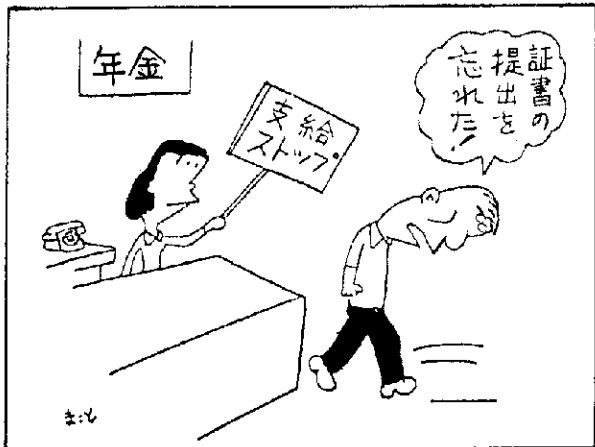
福祉年金を受けている人は、八月期の年金を受け取ったら、すぐに年金証書を役場の年金係へお返しください。

これは、八月分から向こう一年間の支給額を決定し、国民年金証書に、年二回の支給金額を記入するためのものです。

証書の提出が遅れると、次の年金支払月である十一月がきても、年金の支払いを受けられませんが、くれぐれもご注意ください。

福祉年金証書を役場に返すとき、次のことを聞きま

すので、わかるようにメモをしてきてください。
①昭和五十五年一月から十二月までの間に、あなたや家族の方で、土地・家屋等を買ったことがあったかどうか。(買った人の氏名、あなたとの続柄)
②あなたは国民年金以外の年金や恩給などを受けて



いるかどうか。(受けている場合は、その年金証書をお持ちください)
福祉年金の支払いは八月十一日からです。十一日には、それぞれの郵便局の窓口で役場の係員が出張して証書をお預りします。当日都合のつかない方は、できるだけ早めに年金係へ証書を提出してください。

食中毒には三種類

細菌 菌学 自然 化学 自

食中毒は、大きく次の三つに分けられます。

細菌性食中毒と化学性食中毒（農薬など）、それに自然毒（ふぐやキノコなどによるもの）です。このうち、細菌による食中毒が最も多く、全体の八割から九割を占めています。

細菌性食中毒のうち、主にブドウ球菌と大腸菌による食中毒が、ふだんの手洗いと深いつながりを持っています。

まずブドウ球菌ですが、これは

人や動物の皮膚、鼻、のど、頭髮、つめの中などにいます。

この状態では害になりませんが、いったん人の手を経て食べ物などに付着して増殖を始めると、食中毒の原因になります。ブドウ球菌によって食中毒を起こす食品には、シュークリームやクリームを使ったケーキ、おにぎりなどがあります。

また、大腸菌はふん便の中にだけいて、しかも口以外のところから人体に侵入することはありま

せん。このように、ブドウ球菌と大腸菌による食中毒を防ぐには、いかに手洗いがたいせつかわかります。

また、同じ細菌性食中毒の原因となる腸炎ビブリオは魚介類に付着していますし、また、サルモネラはもともと動物の体内にすんでいますので、魚介類や動物性食品の第一次汚染が考えられます。ですから、二次汚染つまり、食中毒などの予防には「清潔（調理器具など）」「じん速（早く調理し、早く食べる）」「温度管理（冷却と加熱）」の三原則を守って食品を扱うことがたいせつですが、さ

らに忘れてはならないのが「完全な手洗い」です。

完全な手洗いのための5章



- ① ゆっくり時間をかけて洗う。
- ② つめを短く切る。
- ③ せっけんやせっけん液を使って、最低限ひじから下を洗う。
- ④ せっけんなどでよごれを落とし、たあとのすすぎは、十分に時間をかける。
- ⑤ 手をふくタオルや手ぬぐいは、いつも清潔にしておく。

あなたのお宅でも食品の見直しを

- ▽食品の調理に対する心構え
- ・調理は「清潔」「じん速」「冷却と加熱」の三原則を守る。
- ・野菜・魚介類は十分洗浄する。
- ・包丁・まな板・ふきんなどは十分に洗浄・殺菌・乾燥する。
- ・冷蔵庫の詰め過ぎに注意する。
- ・残りものは必ず再加熱する。
- ▽調理食品に対する心構え
- ・会席料理等はできるだけその場で食べる。
- ・仕出しなどの料理は、食べる時間をはっきり伝える。

十日町地域広域事務組合

— 55年度決算と56年度予算 —

●昭和55年度決算

① 一般会計

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
1.分担金及び負担金	52,530	1.議 会 費	45
2.使用料及び手数料	89	2.総 務 費	1,381
3.国庫支出金	1,117	3.消 防 費	52,028
4.繰 越 金	1,213	内 訳	
5.諸 収 入	1,452	①常備消防費	33,272
6.寄 付 金	15	②非常備消防費	10,069
		③消防施設費	8,687
合 計	56,416	4.公 債 費	1,888
		合 計	55,342
		差 引 繰 越 金	1,074

負担金の内訳

市町村名	金額	市町村名	金額
十日町市(49.4%)	25,963	川西町(17.0%)	8,928
津南町(22.9%)	12,014	中里村(10.7%)	5,625

② 特別会計

(単位万円)

会計名	歳入	歳出	差引繰越
総合福祉センター	2,182	2,086	96
と畜場事業	3,468	2,949	519
合 計	5,650	5,035	615

負担金の内訳

(単位万円)

市町村名	総合福祉センター	と畜場事業	合 計
十日町市	142	736	878
川西町	92	172	264
津南町	1,474	270	1,744
中里村	114	86	200
合 計	1,822	1,264	3,086

●昭和56年度予算

① 一般会計

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
1.分担金及び負担金	55,809	1.議 会 費	63
2.使用料及び手数料	40	2.総 務 費	1,514
3.国庫支出金	1,257	3.消 防 費	53,807
4.寄 付 金	1	内 訳	
5.繰 越 金	50	①常備消防費	34,693
6.諸 収 入	123	②非常備消防費	11,058
		③消防施設費	8,056
合 計	57,280	4.公 債 費	1,796
		5.予 備 費	100
		合 計	57,280

負担金の内訳

(単位万円)

市町村名	金額	市町村名	金額
十日町市(49.1%)	27,424	川西町(16.6%)	9,281
津南町(22.3%)	12,418	中里村(12.0%)	6,686

② 特別会計

(単位万円)

会計名	予算額	会計名	予算額
総合福祉センター	2,454	と畜場事業	3,139

負担金の内訳

(単位万円)

市町村名	総合福祉センター	と畜場事業	合 計
十日町市	174	705	879
川西町	112	147	259
津南町	1,745	244	1,989
中里村	137	84	221
合 計	2,168	1,180	3,348

こうほう ひば

先月は、各地でいろいろのスポーツ大会が行われました。どこの会場でも、参加者は暑さをもとめせず、元氣いっぱいプレーを楽しんでいました。カメラスケッチふうにもその一部を紹介してみます。



千手地区民「大運動会」

千手地区民「大運動会」は先月十九日に川西中グラウンドで実施されました。選手だけでも延べ九百人というにぎやかな大会でした。写真は年齢別リレーです。

十五日・正午には
一分間の
黙とうを

今年も、全国戦没者追悼式が五日に行われます。当日は、皆さんのご家庭でも半旗を掲げ、正午のサイレンを合図に、一分間の黙とうをお願いいたします。

皇居構内の清掃奉仕

団長 田村才一郎

第八回十日町地区皇居勤労奉仕団一行六十人（十日町市十二人、川西町四十八人）は、六月三十日より四日間、皇居構内の清掃奉仕に参加しました。

奉仕団の規定により、人員に制限がありますから、先着順といたします。電話は八一三五五番です。

ゲートボールで 腰をのしました

お年寄りのスポーツに最適と、各地でゲートボールが盛んに行われるようになりました。六月二十八日には、千手小のグラウンドで教育委員会が講習会を実施していますが、集まったお年寄りたちは、ゲートボールの楽しさを心から味わっている様子でした。

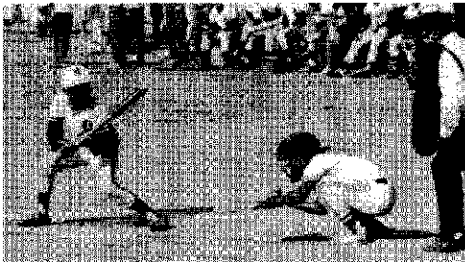


少年野球

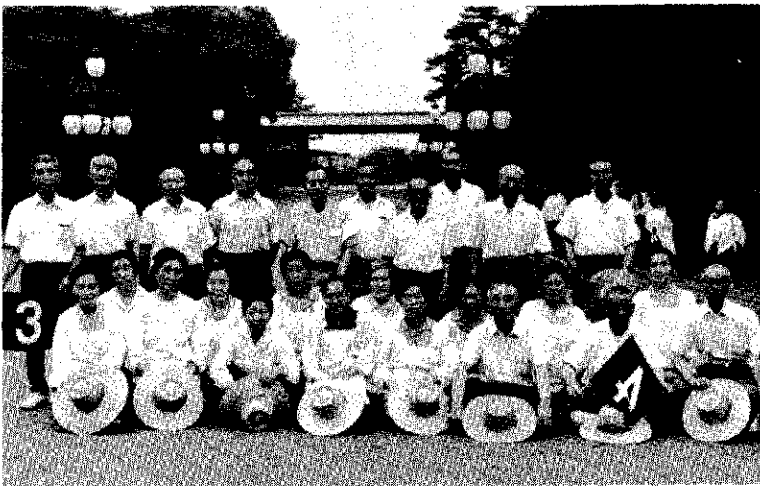
優勝は
上野Aチーム

夏休みに入ったばかりの先月二十五、六日に恒例の少年野球大会が川西中グラウンドで行われました。今年、決勝戦で上野Aチームが橘Aチームを5-3で下し優勝しています。

上野Aにメダルのプレゼント



今年、天皇陛下が満八十歳になられた年です。こうした意義ある年に奉仕でき、団員一同喜んでいました。来年も宮内庁に申請して、引き続き実施する予定です。希望の方は、私のところへ申し込んでください。



橘地区の人たちです

今年 国際障害者年です



シンボルマーク

— 完全参加と平等 —

今年「国際障害者年」です。これは、国連が昭和51年(1976)の第31回総会で決議したもので、障害を持つ人の社会への「完全参加と平等」をテーマにしています。『参加』——とは単なる社会生活への参加にとどまらず、さまざまな分野で社会の発展に貢献することを意味します。

『平和』——とは障害者であるために不平等な扱いを受けることなく、経済的・社会的に他の一般の人たちと同じ生活を送ることができることにあります。

障害を持つ人の問題は、その人たちの特殊な問題として取り扱われるべきではなく、社会全体で考えられるべきことです。皆さんの正しい理解と温かい手が必要です。

障害者の現状

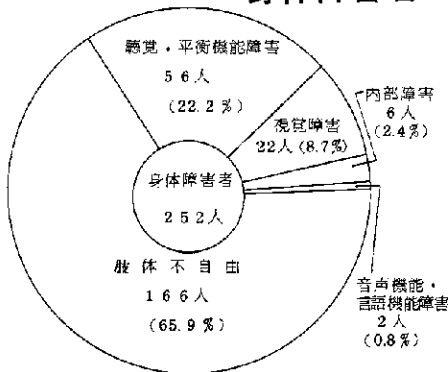
町内に障害者といわれる方々は、四百六人ほどおります。(五十六年三月末現在)

これは、町民百人に四人がなんらかの障害を持っているということです。(県平均は三人)

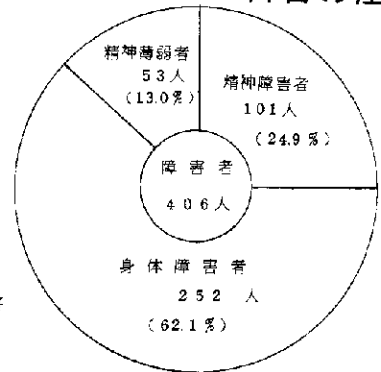
最近、医療の進歩にもかかわらず、難病や不慮の事故などにより、障害者は依然増加の傾向にあります。

障害者に対するお手伝いは、特に意識することなく、ごく自然な気持ちでいたしましょう。

身体障害者



障害の種類



目の不自由な方は

テープの「広報」をどうぞ

目の不自由な方々への声の朗読奉仕用にと、社会福祉協議会へヤクルト販売(株)と日本生命(株)の善意で、先ごろテープレコーダーが贈られています。

社会福祉協議会では、広報かわにし七月号をカセットテープに録音して貸し出しています。

なかなか好評です。これからも広報紙や福祉だよりなどの録音を続けて貸し出していきます。

利用されたい方はご連絡ください。

また、社会福祉協議会では、朗読奉仕ボランティアを求めています。現在二人の方が申し出てくださいましたが、もう三、四人くらい必要とのことでした。

よろしくご協力願います。

わしの自慢

編物が好きです

元町 田畑カツさん

田畑さんの家の縁側からは、まっ正面に越後三山が仰げる。風通しもよく、夏の暑さもさほど苦にならない。

茶の間へ上げていただき、いろんな話を聞きました。

田畑さんは、明治二十六年の生まれで今年七十八歳になられた。編物が得意とのことである。

「そでなしなんかは近所の人にも分けてやってたてエ」

毛糸はハンパものを使っている。もらいものが多いらしい。

「今は材料が集まらなくて、そでなしまではなかなか編めないでのお」

それでも、古くなったセーターなどをほぐしては編物を楽しんでるという。

奥の方から風呂敷包みをたいせつそうに持ってきた。

包みの中からは、五枚



「持ち合わせはこれだけ」と田畑さん

ほど足ふきがでてきた。色とりどりで編み目も整っている。

「一つ編むのには、仕事でもないので四、五日はかかるてエ」

夏場は畑の草取りに追われ、あまり編めないそう。

「夜は別の楽しみがあるので全然編めねえの」

ちよつとそちらの話もお聞きしたくなった。

「じつは、しょうちゅうが好きでそお、夜になるとお湯を混ぜては飲んでらんだてエ」

「一升が一週間ぐらいで空くのオ」

傍らで家の人が「三日ぐらいじゃねえかい。たまにはよじけることもあるぜエ」といった。

「風邪もひいたことがないてエ。じょうぶがとりえでのオ」

これも自慢の一つである。

二人のひこ(保育園の男児と一歳の女児)のめんどうも時々みるが、足腰の鍛錬にもなる。



設立総会には170人余が出席

青少年育成町民会議が 設立されました

先月十二日、総合センターで町民百七十人あまりが出席して、青少年育成町民会議の設立総会が行なわれました。

町民の皆さんから多くの入会申し込みをいただき、会員は現在千六百七十七人となりました。

当日は、規約、昭和五十六年度事業計画・予算が決められました。また、役員には次の方々が選ばれ、民間サイドの組織としていよいよ活動が開始されます。ご協力をお願いします。

◎役員 (敬称略)

▽会長 小林健三(木島町)

▽副会長 大久保三吉(野口)

▽運営委員 渡辺一治郎(中屋敷)、

市川松男(中屋敷)、星名義則

(学校町)、関口良平(神社町)、



お知らせ

公民館だより

8月と9月上旬の社会教育日程

期日	学級名	学習開始時間	会場
8.11(火)	元町書道教室	午後8:00～	元町集落センター
8.11(火)	三箇高齢者学級	" 2:00～	三箇公民館
8.17(月)	橋高齢者学級	" 2:00～	橋分館
8.18(火)	千手婦人学級	" 8:00～	総合センター
8.19(水)	白倉家庭教育学級	" 8:00～	白倉集会所
8.20(木)	橋家庭教育学級	" 8:00～	橋分館
8.20(木)	千手高齢者学級	" 1:30～	総合センター
8.21(金)	仙田婦人学級	" 8:00～	中仙田公民館
8.23(日)	木落家庭教育学級	" 8:00～	木落公民館
8.24(月)	新町家庭教育学級	" 8:00～	新町公民館
8.24(月)	橋婦人学級	" 8:00～	橋分館
8.25(火)	上野高齢者学級	" 2:00～	上野分館
9. 5(土)	赤岩家庭教育学級	" 8:00～	赤谷集落センター
9. 7(月)	新町家庭教育学級	" 8:00～	新町公民館
9. 9(水)	元町書道教室	" 8:00～	元町集落センター
9.10(木)	木落高齢者学級	" 1:30～	木落公民館

「少年の主張」地区大会

今年は川西中学校で

この大会は、十日町・中魚沼地区内の中学生が、日ごろ考えている清新で建設的な意見を発表する場です。

今年は、川西中学校で行われるので、皆さんからも大ぜい参加いただき、子供たちの健康な心身づくりへのご理解を深めてくださるようお願いいたします。

- ◇日時 8月21日(金) 午後1時30分から
- ◇会場 川西中学校体育館
- ◇主催 十日町・中魚沼地域青少年対策推進協議会、中魚沼郡・十日町市教育委員会連絡協議会

宮啓一(山野田)、北村カト(中央町)、高橋寛治(三領)、南雲隆三(三領)、沢口茂利(上野)、上野喜久(下平新田)、齋藤トシエ(上野)、戸田禎一(仁田)、田中義勝(下原)、小幡ヨシ(仁田)、小林義幸(中仙田)、小林英夫(中仙田)、小川直克(赤谷)、小川充(岩瀬)、茂野チトセ(藤沢)

▽監事 大澤留子(上町)、平沢徳松(仁田)

献血二十回以上の方

連絡ください

町では、献血台帳整備のため、二十回以上献血された方を調べています。

該当の方は、八月十五日(土)

健康づくり大会

川西町健康づくり大会が次により行われます。

◇日時 八月三十日(日)

午後一時から四時まで

◇会場 千手小学校体育館

この大会は、みんなが健康で豊かな生活を営むために、保健衛生思想の普及と向上、それに健康づくりは自ら率先して行う、という意識を持っていただくことを目的に実施されるものです。

記念講演もあります。

◇演題 つくろう健康ゆたかな明日へ

◇講師 新潟県健康を守る婦人団体連絡協議会 本間ムツ先生

訓練生募集

県立魚沼高等職業訓練校(北魚沼郡堀之内町)では、次により五十七年度普通訓練課程の訓練生を募集します。

▽募集訓練科 電気施設科 二十人 測量科 二十人

▽応募資格 高等学校卒業者(五十七年二月卒業予定者を含む)

▽年齢 おおむね三十歳以下の人

▽願書受付 九月一日から十月二十日まで

▽選考日 十月三十日(金)

詳しくは魚沼高等職業訓練校へ(☎〇二五七九四一四一〇)

交通指導と道路清掃 国道252号線で

先月二十八日の午前七時から九時まで、国道二五二号線松葉沢の溜池付近で、交通指導と道路清掃を関係者が同時に行っています。

交通指導では、シートベルトの着用を重点に呼びかけました。

一方、道路清掃の方では、道のあちこちに空きカンが捨てられているので、早朝の作業



▲シートベルトはしていますか

にもかかわらず汗だくで拾い集めました。

八月は道路を守る月間です。道路は広く、美しく、安全に使用しましょう。



次の善意が寄せられました。

●社会福祉社のためにと

※小川金吾さん(赤谷) から三万円

※上村栄一さん(下平新田) から五万円

※須藤憲一さん(下原) から三万円

●なかまの家建設資金にと

※芸能チャリティショウ寄付としてユビテルカラオケ愛唱会(代表・蔵品清さん) から七万七千三百円

※民謡チャリティショウ寄付として民謡ふとんのさかい(代表・坂井重平さん・新潟市) から十九万八千五百七十七円

※第七回チャリティゴルフ大会寄付として上越国際カントリークラブ十日町コース(株)サンライフ(塩沢町) から三十二万二千五百円

●広報発行の一助にと

東京・大田区にお住いの高津進さんから三万円

▼空きカン、公害対策はいかに



町内さんぽ

縁台将棋 勝負はマツタナシ

先月二十三日の夜は、前日とはうって変わって涼しく、しのぎやすい陽気になりました。

沖立部落センターの前では、縁台将棋と五目並べ大会がにぎやかに行われていたので、のぞいてきました。

楽しみを味わってもらおうと計画したのがこの大会でした。

試合開始は、ピラの時間より一時間遅れの八時半からでした。将棋の部は参加者八人がトーナメント戦で争います。敗者復活戦もありますが、なんとといっても「マツタナシ」は厳しいルールです。それぞれ優勝カップを手にしようとして、戦いが繰り広げられました。

一時までかかりました。戦いが終われば打ち解けた話ができます。

これからも、「さんち祭り」だけでなく、いろいろの機会をとらえ、みんなが気軽に参加できる催しを計画していこうと約束し、解散しました。

沖立では、七月二十三、四日は「さんち祭り」として、十数年前までは、子供すもう大会やのど自慢大会などを行い、部落総出で祭りをたんのうしていました。

それが、勤め人が多くなり、自分の時間が自由に取れなくなったためか、いつの間にか、この祭りも立ち消えのようになってしまいました。

これではいけないと、沖立縁台将棋クラブなるものを有志が急ぎよ結成し、大ぜいが一堂に会する

警察官募集

- 募集期間 八月十二日から九月九日まで
 - 受験資格 十八歳から二十八歳未満の男子で高卒程度の学力を有する人
 - 採用試験 九月二十七日
 - 試験地 新潟市、長岡市、上越市、新発田市
- 詳しくはお近くの駐在所へ。

停電のお知らせ

- 8月28日(金) / 午前9時から午後2時まで、仁田・野口・原田・根深。



くすくす

ガンの危険信号八か条

ガンは無症状で進み、知らないうちに悪化しているということは、毎回のシリーズの中でご存知かと思えます。

次のような症状がありましたら、迷わず専門医に診てもらいましょう。

①胃—胃のぐあいが悪く、食欲がなく、好ききらいに変化が出てきた。

②食道—物を飲み込むときつかえる。

③大腸・直腸—便に血や粘液が混じる。

④肺—せきが続きたり、たんに血が混じったりする。

⑤のど—声がかすれる。

⑥子宮—おりものや不正出血がある。

⑦乳房—乳房の中にしこりがある。

⑧舌・皮膚—治りにくいオデキがある。

⑨腎臓・膀胱・前立腺—尿の出が悪かったり、血が混じった

りする。

危険信号を八つあげてみましたが、身近に行われる検診の機会を上手に利用して、自分の健康管理に努力してください。とにかく、ガンは無症状で進行し、年齢の若い人ほど進行が早いということをおぼえておいてください。

町で行っている検診をあげてみます。

①結核検診

二年前からフィルムも十センチ四方の大きさになり、診断も結核性と非結核性(肺ガンの疑い)に区別して診断されています。

②胃の集団検診

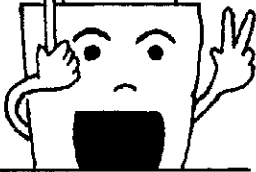
春、秋二回行っています。

③婦人の検診

次により行われます。進んで受診してください。

早期発見集団検診

川西町



8月31日午前 総合センター
午後 克雪センター
9月1日午前 上野連絡所
午後 橘出張所

戸籍の窓から

たかさこ—こ円満に

- 新郎 丸山 春雄 根 深
- 新婦 丸山いつ子 根 深から
- 新郎 丸山 修二 根 深
- 新婦 木原 銀子 千葉県から

うぶ声—おすこやかに

- 中村 美咲 卯一 二女 坪山
- 太田美智子 茂治 長女 木島町
- 小海 広行 正行 二男 栄町



かわにし

俳壇

太田白南風選

霜条 星名 星光

○海遠く島遠く見ゆ合歡の花
稲の花畦の高さに揃えたる
庭先に野良着を吊し昼寝時
合歡の花やわらかに吹きそよぎをり

岩瀬 小川 益栄

○去年冷夏今年酷暑の輝しぐれ
どくだみの十字の花の浮みたる
跛行する杖の先々道おしへ

赤谷 登坂 紅葉

合歡咲くや峽の湯宿の窓越しに

- 高橋 淳 誠二 二男 朝日町
- 西野 健 利一 二男 発電所通
- 鈴木 健 栄一 二男 山野田
- 上村 智恵 孝夫 長女 元町
- 入澤 剛介 幸司 長男 上野
- 上村 絃子 信行 長女 下平新田

昇天—こめい福を祈る

- 田村 ヒサ 室島 六一
- 渡邊 愛子 上野 六九
- 藤巻 チノ 塩 辛 七五
- 田口 トク 木落 七九
- 登坂 熊作 岩瀬 七九
- 高橋 ヨシ 田戸 八〇
- 須藤 フジ 下原 八六
- 上村 省司 下平新田 九三

文月の一日の日和小豆播く
花合歡や信濃河原の橋たもと
打水をして小坊主の去りにけり
道おしへ何時か失せたる舗装道
参道に香れる合歡の花盛り

三領 高橋たかし

おおばこの葉を垂れている日照かな
十葉を日蔭に吊し土用入り
早起の子の甲虫取りに出し

赤谷 登坂 酔月

今朝掃きし庭に散りたる桐の花
投句が多くなってきたうれしい
が、一句や二句だけ見せて貰って
もなかなか掲載し難い。沢山作っ

《評》

て多く見て貰うことも修練の一つ
です。今回の投稿には解り難いもの
が多かった。自分ではそれなりに
に解っているもその表現が他人に
伝わらないということは句になら
ないということである。「舌頭千
転」ということばがあるが、句が
出来たら先ず何べんも読み返して
みることである。句の言い廻し、
ことばのリズムなどこれによって
自ら判って来よう。それから句は
必ず書きとめておいて、二、三日
経って再び見ることである。思い
込んでしまうと判らぬままに記し
てしまうが、あとで見るとまこと
につまらぬことが多い。

7月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	死傷者	酒気	酒酔	累計
1 (3)	1 (8)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	7 (18)
11 (22)	0 (2)	2 (3)	15 (8)			

()内は前年比較

心配ごと相談

- 8月12日.....橘出張所
- 8月19日.....克雪センター
- 8月26日.....総合センター
- 9月2日.....上野連絡所
- 9月9日.....橘出張所